

# ごみ減量もったいない！かわらばん

秋田市環境部環境都市推進課 〒011-0904 秋田市寺内蛭根三丁目24-3

電話：866-2943 FAX：863-6683 E-mail：ro-evcp@city.akita.akita.jp

秋田市HP <http://www.city.akita.akita.jp/> くらし → ごみ・リサイクル・環境 → 環境都市推進課HP

発行

「ごみを減らすことを心がけていると、それがやがて習慣となり、面倒に思わずに継続できるようです。」

家庭ごみの半分は水分を多く含む生ごみです。この水分を出来るだけ少なくして減量しようという斎藤さんのアイデアを紹介いたします。

斎藤さんは「野菜や果物の皮などは水洗いして、水切り袋に入れて天日干し乾燥することで少し軽くなります」として「茶殻も乾燥させる」とのことです。

果物によっては、乾燥させることで相当軽くなるものもあり、提案する水切り袋やざるを利用したり、チラシなどの上に置いて干すだけでも効果的です。



また、「普通のことですが」とことわり、「冷蔵庫を確認しつつ、料理をする際は適量を作り、各自食べられる分量だけ分配型にすると、食べ残しもなくなりません」としています。秋田市が年4回実施している「家庭ごみ組成調査」では、

## ライフスタイルを変えてみませんか？その2

### ごみ減量アイデアコンテスト受賞作品の取り組みを紹介

賞味期限切れの手つかずの食材が多く見たり、とてももったいない状況です。

3つの言葉の頭文字をとった3Rという方法があります。3つのRとは、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用する）、リサイクル（再生利用する）。この中でごみの減量に効果があるのは、最初からごみを出さない「リデュース」で、ご紹介している提案も、この「ごみになるものを作らない」ための工夫です。

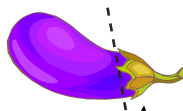
水分とばすよ～！



↑この部分を乾燥させて



↑この部分や



↑ヘタは濡らさずに切って捨てます

干すと美味しくなるものもあるね！



2014  
**ごみ減量アクション**  
6月1日(日)にぎわい交流館

ごみ減量方法の紹介パネルコーナーや3Rアンケートで減量グッズ抽選会も。

申込み 秋田市環境都市推進課 TEL866-2943

新聞紙フラワーアレンジメント 定員各回20名

①10:30～12:00 ②13:30～15:00

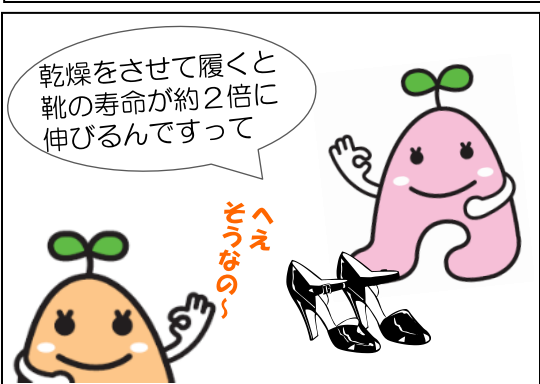
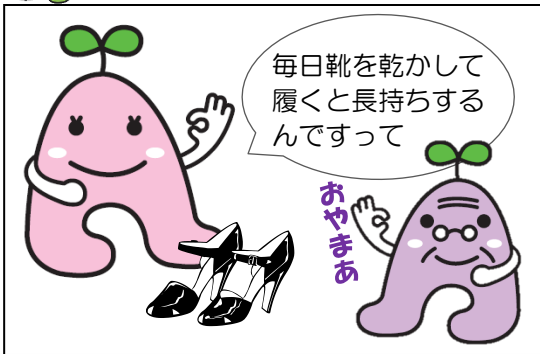
包丁研ぎ講座 定員各回8名

①10:30～11:30 ②13:00～14:00

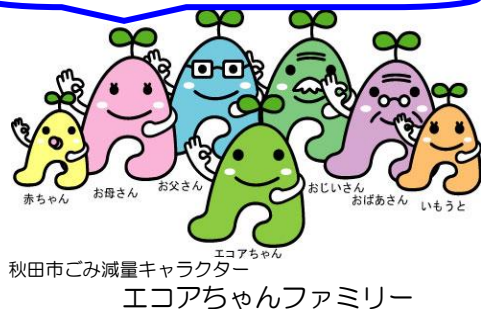
※新聞紙フラワー、包丁研ぎは要予約。5/7電話受付開始

マスキングテープ染色バッグ 当日先着各回10名

チラシでおしゃれなビース作り



**長持ちでごみを減らしましょう**



**ごみ減量のコツその1** **フタ付き容器でラップ使用を減量**

残り物を大切に食べきることはごみの減量につながります。昔からあるフタ付き容器を見直してはいかがでしょうか。最近、密閉性が高く軽量の保存容器もあり、ずいぶん使いやすくなっていますね。用途に合わせて、使ってみませんか。



ラップ材の節約になり、その分天然資源も使わずにすみます。

**ごみ減量のコツその2** **手入れをして長持ちさせる**

人は想像以上に発汗していて、1日に1リットルの汗をかき、一日中履いた靴はコップ1杯分の汗を吸っているのだそうです。そのため、毎日同じ靴を履き続けると靴は痛みやすく変形しやすくなり、水分を乾燥させながら上手に使うと、とても長持ちするそうです。



靴を履き終わったら、購入した時に入っていた靴箱にはしまわず、日の当たらない風通しの良い場所に置いて乾燥させましょう。完全に乾くまで約2~3日かかります。乾かすことで雑菌の繁殖も少なくなるということです。

このような手入れをすることにより、靴の寿命は何もしないときと比べると、なんと約2倍に伸びるらしいですよ。

気に入った靴を長持ちさせて履くことは、気分が良いだけでなく、ごみを減らすことにもなるんですね。



人にも地球にもやさしいあきたをめざして

ぎゅっと水切り  
しっかり紙も分別で **ごみ減量**